

Ⅱ 調査結果の概況

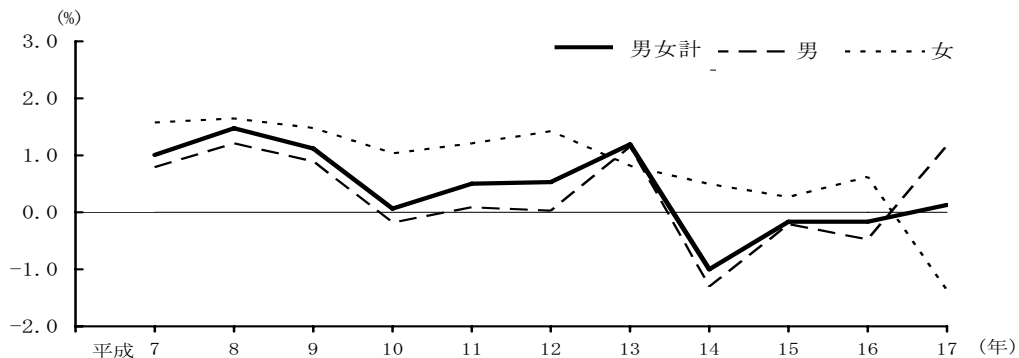
1 一般労働者の賃金

(1) 賃金の推移

賃金（6月分の所定内給与額。以下同じ。）は、男女計で302,000円（平均40.7歳、12.0年勤続）、対前年増減率0.1%増と4年ぶりの増加となっている。

これを男女別にみると、男では337,800円（平均41.6歳、13.4年勤続）、対前年増減率1.2%増、女では222,500円（同38.7歳、8.7年勤続）、同1.4%減となっている。（第1図、第1表）

第1図 性別賃金の対前年増減率の推移（産業計、企業規模計）



第1表 性別賃金、対前年増減率の推移（産業計、企業規模計）

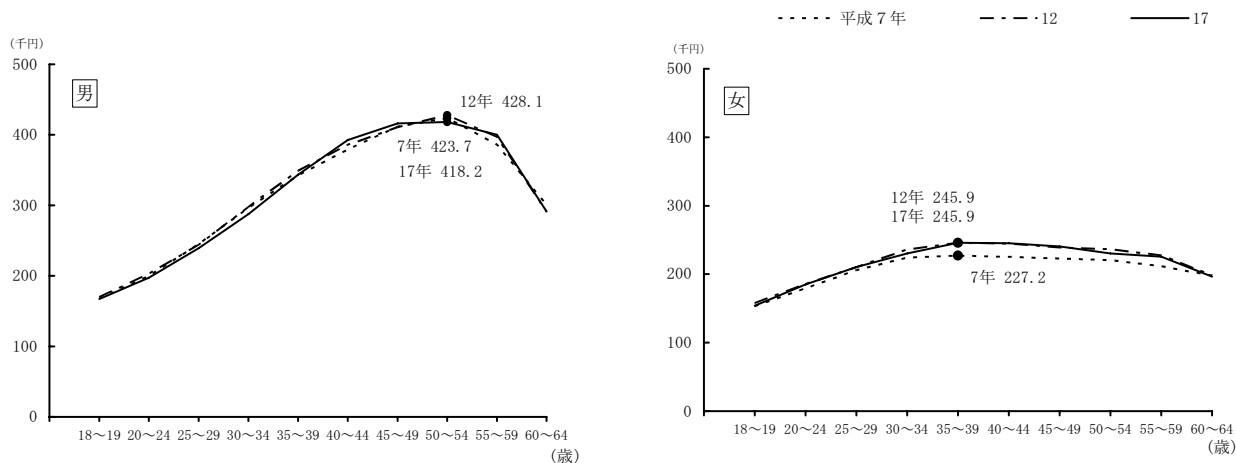
年	男女計		男		女	
	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)
平成 7	291.3	1.0	330.0	0.8	206.2	1.6
8	295.6	1.5	334.0	1.2	209.6	1.6
9	298.9	1.1	337.0	0.9	212.7	1.5
10	299.1	0.1	336.4	-0.2	214.9	1.0
11	300.6	0.5	336.7	0.1	217.5	1.2
12	302.2	0.5	336.8	0.0	220.6	1.4
13	305.8	1.2	340.7	1.2	222.4	0.8
14	302.6	-1.0	336.2	-1.3	223.6	0.5
15	302.1	-0.2	335.5	-0.2	224.2	0.3
16	301.6	-0.2	333.9	-0.5	225.6	0.6
17	302.0	0.1	337.8	1.2	222.5	-1.4
平成 17年 平均年齢(歳)	40.7		41.6		38.7	
勤続年数(年)	12.0		13.4		8.7	

(2) 年齢階級別にみた賃金

賃金がピークとなる年齢階級をみると、男では、50～54歳で418,200円（平均21.7年勤続）となり、女では、35～39歳で245,900円（同9.4年勤続）となっている。

年齢階級別に前年と比較すると、男では、30～59歳の各階級で上回り、29歳以下の階級及び60歳以上の階級で下回っている。女では、すべての階級で下回っている。（第2図、第2表）

第2図 性、年齢階級別賃金（産業計、企業規模計）



(注) 線上の●印は賃金ピークを示す。以下同じ。

第2表 性、年齢階級別賃金及び対前年増減率（産業計、企業規模計）

年齢階級 (歳)	男						女					
	賃 金 (千円)				対前年増減率 (%)		賃 金 (千円)				対前年増減率 (%)	
	平成7年	12	16	17	平成16年	17	平成7年	12	16	17	平成16年	17
計	330.0	336.8	333.9	337.8	-0.5	1.2	206.2	220.6	225.6	222.5	0.6	-1.4
18～19	167.4	170.0	167.8	167.2	-0.2	-0.4	153.4	157.5	154.4	154.2	-0.3	-0.1
20～24	199.7	202.9	200.3	197.3	-0.6	-1.5	179.2	185.8	185.5	185.1	-0.3	-0.2
25～29	245.2	244.0	240.2	239.3	-0.2	-0.4	205.8	210.4	211.1	210.6	-0.5	-0.2
30～34	296.1	297.4	286.7	287.3	-1.5	0.2	224.4	236.3	232.6	230.4	-0.6	-0.9
35～39	342.4	348.8	342.1	343.5	-0.6	0.4	227.2	245.9	247.7	245.9	-0.4	-0.7
40～44	378.9	385.6	381.8	392.6	-1.3	2.8	225.2	244.8	248.9	245.3	0.3	-1.4
45～49	411.7	410.7	407.9	416.1	-1.0	2.0	222.8	238.9	247.0	240.4	2.2	-2.7
50～54	423.7	428.1	410.1	418.2	-0.4	2.0	220.5	236.6	240.2	230.3	1.0	-4.1
55～59	386.0	396.8	395.3	399.9	-0.5	1.2	211.8	227.4	237.1	225.7	1.6	-4.8
60～64	300.8	290.7	299.8	291.2	1.8	-2.9	198.1	198.2	206.2	196.4	1.4	-4.8
平均年齢(歳)	40.1	40.8	41.3	41.6			36.5	37.6	38.3	38.7		
勤続年数(年)	12.9	13.3	13.4	13.4			7.9	8.8	9.0	8.7		

(注) 年齢階級区分の計の数値には、上掲の年齢階級のほか、18歳未満及び65歳以上の者を含む。以下同じ。

(3) 学歴別にみた賃金

学歴別の賃金をみると、男では、大学・大学院卒が407,100円（平均40.3歳、12.5年勤続）、高専・短大卒が305,500円（同36.5歳、10.7年勤続）、高卒が300,900円（同42.1歳、14.0年勤続）、中卒が280,400円（同51.6歳、17.8年勤続）となっている。

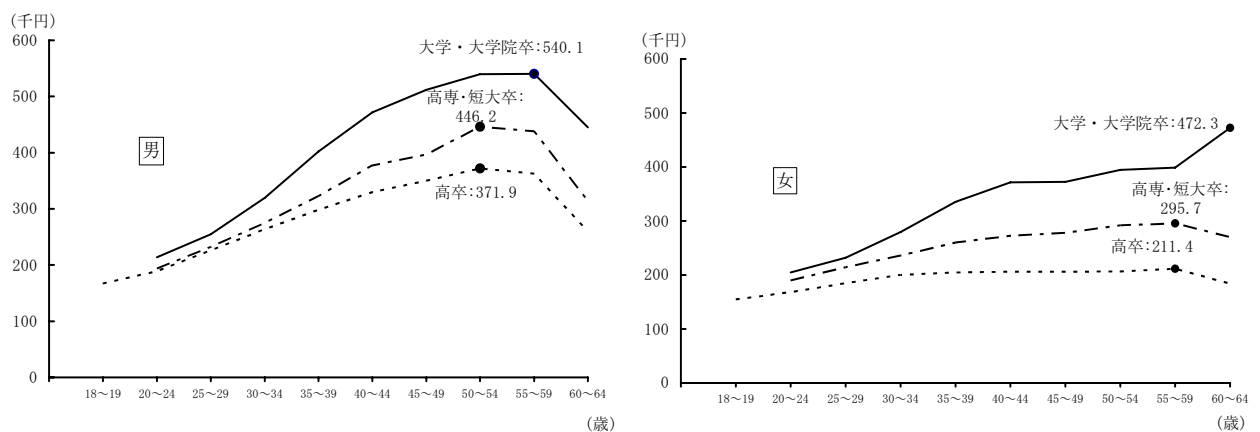
女では、大学・大学院卒が277,700円（平均32.9歳、6.3年勤続）、高専・短大卒が239,400円（同35.0歳、7.9年勤続）、高卒が197,700円（同41.5歳、9.6年勤続）、中卒が174,900円（同53.1歳、13.5年勤続）となっている。

これを前年と比較すると、男女とも、大学・大学院卒及び高専・短大卒で上回り、高卒及び中卒では下回っている。

賃金がピークとなる年齢階級をみると、男では、大学・大学院卒及び中卒が55～59歳、高専・短大卒及び高卒が50～54歳、女では、大学・大学院卒が60～64歳、高専・短大卒及び高卒が55～59歳、中卒が50～54歳及び55～59歳となっている。（第3図、第3表）

学歴別に年齢階級間の賃金格差（20～24歳の賃金＝100）をみると、男では大学・大学院卒は55～59歳で253、高専・短大卒及び高卒は50～54歳でそれぞれ231、197となっている。女では、大学・大学院卒の60～64歳の年齢階級で231となっているが、おおむねすべての学歴で男に比べ、年齢階級間の格差が小さい。（第4表）

第3図 学歴、性、年齢階級別賃金（産業計、企業規模計）



第3表 学歴、性、年齢階級別賃金及び対前年増減率（産業計、企業規模計）

性、年齢階級 (歳)		大学・大学院卒			高専・短大卒			高 卒			中 卒		
		賃 金 (千円)		対前年 増減率(%)	賃 金 (千円)		対前年 増減率(%)	賃 金 (千円)		対前年 増減率(%)	賃 金 (千円)		対前年 増減率(%)
		平成16年	17		平成16年	17		平成16年	17		平成16年	17	
男	計	400.3	407.1	1.7	303.2	305.5	0.8	301.8	300.9	-0.3	286.8	280.4	-2.2
	18～19	-	-	-	-	-	-	167.4	167.3	-0.1	175.2	164.8	-5.9
	20～24	217.4	213.8	-1.7	195.3	193.4	-1.0	192.4	189.2	-1.7	200.8	202.4	0.8
	25～29	255.2	254.8	-0.2	232.2	231.9	-0.1	229.1	226.0	-1.4	230.4	234.8	1.9
	30～34	318.5	319.7	0.4	275.7	274.9	-0.3	264.9	263.7	-0.5	258.3	255.0	-1.3
	35～39	403.9	401.9	-0.5	326.6	322.6	-1.2	299.0	298.1	-0.3	275.9	274.5	-0.5
	40～44	461.0	471.6	2.3	365.6	377.0	3.1	330.3	329.8	-0.2	282.1	285.3	1.1
	45～49	502.3	511.7	1.9	390.2	396.9	1.7	351.5	350.1	-0.4	304.9	297.5	-2.4
	50～54	532.7	539.6	1.3	426.1	446.2	4.7	369.1	371.9	0.8	315.9	308.4	-2.4
	55～59	543.5	540.1	-0.6	405.4	438.0	8.0	361.2	362.5	0.4	319.1	313.9	-1.6
	60～64	476.1	444.9	-6.6	313.7	313.8	0.0	267.8	259.5	-3.1	238.8	240.8	0.8
	平均年齢(歳)	39.8	40.3		36.8	36.5		41.9	42.1		50.9	51.6	
	勤続年数(年)	12.4	12.5		10.6	10.7		13.9	14.0		18.3	17.8	
女	計	276.1	277.7	0.6	237.9	239.4	0.6	205.5	197.7	-3.8	180.8	174.9	-3.3
	18～19	-	-	-	-	-	-	154.5	154.8	0.2	147.7	134.9	-8.7
	20～24	204.3	204.4	0.0	190.2	190.0	-0.1	168.8	168.2	-0.4	151.7	154.9	2.1
	25～29	231.5	231.9	0.2	213.5	214.1	0.3	189.6	184.6	-2.6	162.8	173.0	6.3
	30～34	280.6	279.3	-0.5	238.0	235.9	-0.9	205.3	200.2	-2.5	171.5	168.2	-1.9
	35～39	338.0	335.4	-0.8	261.0	260.0	-0.4	211.4	204.7	-3.2	173.3	172.9	-0.2
	40～44	368.3	371.5	0.9	270.2	272.4	0.8	214.7	206.0	-4.1	177.1	182.3	2.9
	45～49	370.2	372.3	0.6	278.4	277.9	-0.2	219.3	205.8	-6.2	183.3	178.1	-2.8
	50～54	412.1	394.4	-4.3	290.2	291.8	0.6	219.4	206.4	-5.9	192.8	183.9	-4.6
	55～59	433.5	398.4	-8.1	293.6	295.7	0.7	224.2	211.4	-5.7	191.3	183.9	-3.9
	60～64	429.3	472.3	10.0	260.6	270.1	3.6	197.9	183.9	-7.1	163.0	160.6	-1.5
	平均年齢(歳)	32.7	32.9		34.8	35.0		40.9	41.5		53.3	53.1	
	勤続年数(年)	6.3	6.3		7.8	7.9		10.2	9.6		14.1	13.5	

第4表 学歴、性別年齢階級間賃金格差（産業計、企業規模計）

(20～24歳=100)

性、年齢階級 (歳)		大学・大学院卒				高専・短大卒				高 卒			
		平成7年	12	16	17	平成7年	12	16	17	平成7年	12	16	17
男	計	185	184	184	190	151	152	155	158	158	158	157	159
	18～19	-	-	-	-	-	-	-	-	85	86	87	88
	20～24	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	25～29	121	117	117	119	122	120	119	120	122	120	119	119
	30～34	153	152	147	150	150	144	141	142	141	139	138	139
	35～39	186	186	186	188	173	169	167	167	159	157	155	158
	40～44	218	213	212	221	205	188	187	195	178	171	172	174
	45～49	253	237	231	239	225	209	200	205	196	190	183	185
	50～54	282	266	245	252	230	219	218	231	210	200	192	197
	55～59	276	260	250	253	227	200	208	226	192	193	188	192
	60～64	224	202	219	208	169	148	161	162	148	139	139	137
女	計	130	134	135	136	120	123	125	126	116	119	122	118
	18～19	-	-	-	-	-	-	-	-	90	91	92	92
	20～24	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	25～29	115	113	113	113	116	114	112	113	111	112	112	110
	30～34	138	143	137	137	131	130	125	124	119	120	122	119
	35～39	158	165	165	164	140	140	137	137	119	124	125	122
	40～44	172	187	180	182	152	145	142	143	124	124	127	122
	45～49	190	193	181	182	155	154	146	146	127	128	130	122
	50～54	208	201	202	193	166	159	153	154	131	131	130	123
	55～59	224	233	212	195	174	159	154	156	129	129	133	126
	60～64	258	236	210	231	177	135	137	142	123	115	117	109

(4) 企業規模別にみた賃金

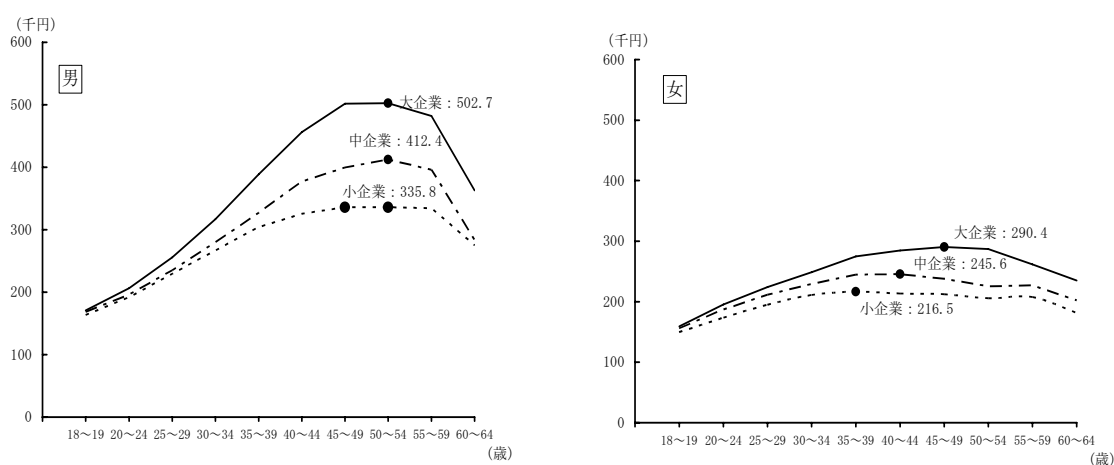
企業規模別の賃金をみると、男では、大企業で399,500円（平均41.3歳、16.7年勤続）、対前年増減率1.1%増、中企業で324,700円（同41.0歳、12.7年勤続）、同0.4%増、小企業で291,300円（同42.8歳、11.1年勤続）、同1.1%減となっており、大企業、中企業では前年を上回り、小企業では前年を下回っている。

女では、大企業で250,100円（平均36.9歳、9.9年勤続）、対前年増減率1.6%減、中企業で221,800円（同38.2歳、8.2年勤続）、同2.3%減、小企業で201,600円（同40.7歳、8.5年勤続）、同2.4%減となっており、各企業規模とも前年を下回っている。

賃金がピークとなる年齢階級をみると、男では、大企業及び中企業が50～54歳で、それぞれ502,700円、412,400円、小企業が45～49歳及び50～54歳で335,800円となっている。女では、大企業が45～49歳で290,400円、中企業が40～44歳で245,600円、小企業が35～39歳で216,500円となっている。年齢階級間格差は、中企業、小企業が大企業に比べて男女とも小さくなっており、男女で比べると、各規模とも、女が男に比べて小さい。（第4図、第5表）

企業規模間の賃金格差（大企業の賃金＝100）をみると、男では中企業で81、小企業で73、女では中企業で89、小企業で81となっている（第6表）。

第4図 企業規模、性、年齢階級別賃金（産業計）



第5表 企業規模、性、年齢階級別賃金、対前年増減率及び年齢階級間賃金格差（産業計）

性、年齢階級 (歳)		大 企 業				中 企 業				小 企 業			
		賃 金 (千円)		対前年 増減率 (%)	年齢階級間格差 (20～24歳=100) H17	賃 金 (千円)		対前年 増減率 (%)	年齢階級間格差 (20～24歳=100) H17	賃 金 (千円)		対前年 増減率 (%)	年齢階級間格差 (20～24歳=100) H17
		平成16年	17			平成16年	17			平成16年	17		
男	計	395.0	399.5	1.1	193	323.3	324.7	0.4	166	294.6	291.3	-1.1	152
	18～19	172.4	170.7	-1.0	83	167.4	168.5	0.7	86	165.9	163.3	-1.6	85
	20～24	209.3	206.5	-1.3	100	198.7	196.0	-1.4	100	195.9	191.7	-2.1	100
	25～29	257.0	255.7	-0.5	124	233.6	235.0	0.6	120	233.8	229.3	-1.9	120
	30～34	318.2	316.7	-0.5	153	276.1	279.7	1.3	143	270.9	266.7	-1.6	139
	35～39	390.6	388.9	-0.4	188	329.4	326.8	-0.8	167	305.1	304.3	-0.3	159
	40～44	448.2	456.0	1.7	221	370.6	377.0	1.7	192	326.6	325.3	-0.4	170
	45～49	492.2	501.7	1.9	243	396.3	399.5	0.8	204	339.5	335.8	-1.1	175
	50～54	505.6	502.7	-0.6	243	401.4	412.4	2.7	210	338.1	335.8	-0.7	175
	55～59	481.6	481.9	0.1	233	391.1	395.7	1.2	202	340.5	334.5	-1.8	174
	60～64	367.0	362.8	-1.1	176	302.9	283.3	-6.5	145	283.8	274.8	-3.2	143
女	平均年齢(歳)	40.8	41.3			40.8	41.0			42.3	42.8		
	勤続年数(年)	16.8	16.7			13.0	12.7			11.1	11.1		
	計	254.2	250.1	-1.6	128	227.1	221.8	-2.3	119	206.5	201.6	-2.4	116
	18～19	161.6	159.2	-1.5	82	155.9	155.7	-0.1	83	149.8	149.8	0.0	86
	20～24	196.1	195.1	-0.5	100	187.9	187.1	-0.4	100	176.1	173.7	-1.4	100
	25～29	225.5	224.1	-0.6	115	210.7	211.3	0.3	113	199.8	194.7	-2.6	112
	30～34	252.7	248.6	-1.6	127	232.5	229.4	-1.3	123	214.0	211.1	-1.4	122
	35～39	277.5	274.8	-1.0	141	251.1	244.8	-2.5	131	219.6	216.5	-1.4	125
	40～44	289.5	284.4	-1.8	146	252.6	245.6	-2.8	131	219.7	213.3	-2.9	123
	45～49	309.2	290.4	-6.1	149	246.3	237.7	-3.5	127	218.5	212.3	-2.8	122
	50～54	290.1	286.9	-1.1	147	242.3	225.2	-7.1	120	216.9	205.8	-5.1	118
	55～59	289.1	261.8	-9.4	134	240.9	226.9	-5.8	121	215.7	207.6	-3.8	120
	60～64	251.8	235.2	-6.6	121	215.7	202.1	-6.3	108	190.8	181.2	-5.0	104
	平均年齢(歳)	36.4	36.9			37.9	38.2			39.9	40.7		
	勤続年数(年)	10.3	9.9			8.7	8.2			8.6	8.5		

(注) 常用労働者数 1,000 人以上を大企業、100～999 人を中企業、10～99 人を小企業としている。

第6表 性、年齢階級別企業規模間賃金格差（産業計）

(大企業=100)

年齢階級 (歳)	男								女							
	中 企 業				小 企 業				中 企 業				小 企 業			
	平成7年	12	16	17	平成7年	12	16	17	平成7年	12	16	17	平成7年	12	16	17
計	85	83	82	81	79	76	75	73	89	90	89	89	83	82	81	81
18～19	97	99	97	99	98	98	96	96	98	96	96	98	95	92	93	94
20～24	97	96	95	95	101	95	94	93	96	97	96	96	92	92	90	89
25～29	93	94	91	92	97	95	91	90	94	96	93	94	89	89	89	87
30～34	91	88	87	88	91	86	85	84	91	92	92	92	84	84	85	85
35～39	87	87	84	84	83	80	78	78	87	90	90	89	76	79	79	79
40～44	84	82	83	83	76	74	73	71	80	87	87	86	71	74	76	75
45～49	83	81	81	80	72	70	69	67	78	81	80	82	70	70	71	73
50～54	83	80	79	82	69	67	67	67	76	83	84	78	70	73	75	72
55～59	85	83	81	82	71	71	71	69	77	81	83	87	71	73	75	79
60～64	92	89	83	78	81	88	77	76	86	82	86	86	75	77	76	77

(5) 産業別にみた賃金

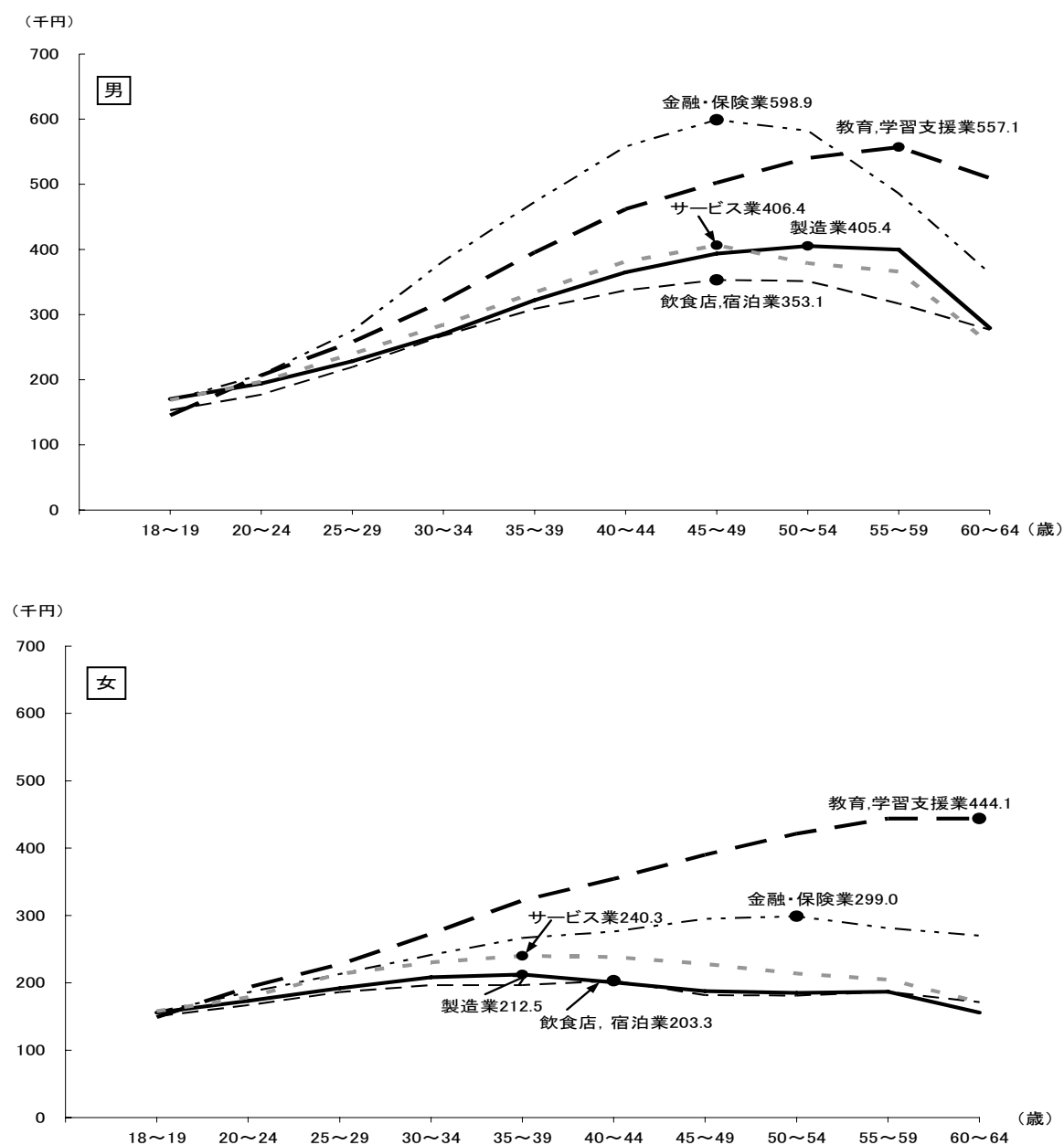
産業別の賃金をみると、男は金融・保険業（４７２，６００円）が高く、飲食店，宿泊業（２７６，６００円）が低くなっている。

女は教育，学習支援業（３０４，６００円）が高く、飲食店，宿泊業（１８１，４００円）が低くなっている。

賃金がピークとなる年齢階級をみると、男では、金融・保険業等６産業が４５～４９歳、製造業等４産業が５０～５４歳、教育，学習支援業等４産業が５５～５９歳となっている。

女では、製造業、サービス業（他に分類されないもの）等４産業が３５～３９歳、建設業等３産業で４５～４９歳等となっている。（第５図、第７表）

第５図 産業、性、年齢階級別賃金（企業規模計）



第7表 産業、性、年齢階級別賃金（企業規模計）

(単位：千円)

性、産業			年 齢 階 級											平均 年齢 (歳)	勤続 年数 (年)
			年齢計	18～19 歳	20～24 歳	25～29 歳	30～34 歳	35～39 歳	40～44 歳	45～49 歳	50～54 歳	55～59 歳	60～64 歳		
男	産 業 計		337.8	167.2	197.3	239.3	287.3	343.5	392.6	416.1	418.2	399.9	291.2	41.6	13.4
	鉱 業		316.3	167.9	201.6	241.6	272.2	311.9	346.7	355.9	344.7	339.0	272.0	46.7	14.8
	建 設 業		336.2	164.1	201.9	246.1	292.4	340.4	372.4	392.3	406.1	393.9	294.9	43.5	13.6
	製 造 業		323.8	170.2	194.3	228.5	270.2	322.0	365.1	393.4	405.4	399.8	279.4	41.4	15.5
	電気・ガス・熱供給・水道業		420.3	170.4	209.5	270.1	333.3	405.5	474.3	534.7	584.6	553.9	370.3	39.9	18.9
	情 報 通 信 業		386.8	169.1	214.1	256.5	329.8	385.9	464.1	533.6	566.0	569.5	374.3	37.8	12.0
	運 輸 業		281.0	171.2	201.7	235.1	261.6	286.7	306.2	322.1	314.0	293.2	221.5	44.8	12.6
	卸 売 ・ 小 売 業		348.3	161.4	198.1	243.5	290.5	351.8	407.6	427.2	445.2	451.8	306.2	40.4	13.3
	金 融 ・ 保 険 業		472.6	168.3	207.5	275.1	381.8	472.9	557.8	598.9	582.1	485.6	363.3	41.5	15.9
	不 動 産 業		373.3	182.2	235.6	276.4	338.5	409.3	470.3	501.9	492.3	405.5	260.2	44.6	9.7
	飲 食 店， 宿 泊 業		276.6	153.1	177.0	219.4	267.6	308.8	337.0	353.1	351.3	316.9	276.6	38.3	8.7
	医 療 ， 福 祉		371.7	147.4	192.0	236.8	288.2	397.6	467.5	511.3	587.4	492.5	381.4	39.1	8.6
	教 育， 学 習 支 援 業		449.8	145.4	206.3	257.7	320.9	395.5	461.8	502.0	540.3	557.1	509.3	46.1	14.4
	複 合 サ ー ビ ス 事 業		309.3	143.7	185.4	204.8	242.0	279.0	324.7	361.4	392.0	402.4	242.4	42.3	17.3
	サ ー ビ ス 業 (他に分類されないもの)		315.8	168.6	196.9	239.5	284.4	333.9	381.5	406.4	379.0	366.2	255.2	41.5	10.0
女	産 業 計		222.5	154.2	185.1	210.6	230.4	245.9	245.3	240.4	230.3	225.7	196.4	38.7	8.7
	鉱 業		208.0	169.6	179.9	194.4	208.2	217.3	205.8	199.8	216.5	216.5	246.8	44.9	12.5
	建 設 業		212.3	151.1	180.4	194.2	217.8	226.4	226.2	237.9	218.1	232.5	185.2	39.1	10.0
	製 造 業		190.9	155.7	173.2	192.2	208.5	212.5	200.8	187.7	185.2	186.8	155.8	41.7	11.0
	電気・ガス・熱供給・水道業		297.3	160.2	196.1	238.9	282.3	324.9	349.9	375.9	360.8	308.7	273.7	37.3	14.4
	情 報 通 信 業		267.8	163.7	200.4	237.6	268.5	305.6	324.3	379.6	382.8	345.1	246.5	32.8	7.3
	運 輸 業		211.8	155.0	174.1	196.0	214.6	241.5	231.3	239.0	227.4	211.5	172.5	38.4	9.0
	卸 売 ・ 小 売 業		212.2	154.0	182.6	204.1	224.3	242.1	242.6	221.4	213.9	203.1	175.8	37.2	8.5
	金 融 ・ 保 険 業		249.9	156.7	185.9	213.2	241.6	266.9	276.1	295.2	299.0	281.4	270.1	38.0	10.3
	不 動 産 業		236.2	169.8	197.8	217.5	240.7	281.9	262.1	268.6	249.0	232.6	191.8	38.4	7.2
	飲 食 店， 宿 泊 業		181.4	150.4	166.9	186.1	196.6	196.7	203.3	181.6	181.0	186.5	171.2	39.6	6.5
	医 療 ， 福 祉		243.3	149.8	196.7	222.7	243.8	260.3	263.0	267.1	264.6	267.1	248.2	38.3	7.6
	教 育， 学 習 支 援 業		304.6	148.9	193.3	227.2	272.5	322.4	354.2	390.2	421.6	444.0	444.1	37.3	9.7
	複 合 サ ー ビ ス 事 業		207.5	150.0	166.1	185.7	200.4	208.1	219.7	230.8	240.7	250.1	161.1	39.0	11.6
	サ ー ビ ス 業 (他に分類されないもの)		215.5	157.9	178.6	213.3	230.3	240.3	238.3	227.9	213.8	204.8	171.4	38.1	6.5

(6) 労働者の種類別にみた賃金

製造業について、労働者の種類別の賃金をみると、男では、生産労働者が274,300円（平均40.5歳、14.3年勤続）、対前年増減率0.3%減、管理・事務・技術労働者が386,400円（同42.5歳、16.9年勤続）、同0.5%増となっている。

女では、生産労働者が166,600円（平均44.5歳、10.8年勤続）、対前年増減率2.5%減、管理・事務・技術労働者が227,700円（同37.6歳、11.2年勤続）、同0.4%増となっている。

賃金がピークとなる年齢階級をみると、男では、生産労働者、管理・事務・技術労働者とも50～54歳で、それぞれ333,200円、487,200円となっている。

女では、生産労働者が30～34歳で182,300円、管理・事務・技術労働者が55～59歳で252,400円となっている。（第8表）

第8表 製造業の性、労働者の種類、年齢階級別賃金及び対前年増減率（企業規模計）

年齢階級 (歳)	男						女					
	生産労働者			管理・事務・技術労働者			生産労働者			管理・事務・技術労働者		
	賃金(千円)		対前年 増減率 (%)	賃金(千円)		対前年 増減率 (%)	賃金(千円)		対前年 増減率 (%)	賃金(千円)		対前年 増減率 (%)
	平成16年	17		平成16年	17		平成16年	17		平成16年	17	
計	275.2	274.3	-0.3	384.5	386.4	0.5	170.9	166.6	-2.5	226.8	227.7	0.4
18～19	168.8	170.5	1.0	166.7	167.1	0.2	154.0	154.7	0.5	159.0	158.9	-0.1
20～24	190.6	190.6	0.0	205.2	207.0	0.9	164.1	163.7	-0.2	182.8	183.5	0.4
25～29	218.6	218.7	0.0	243.9	244.7	0.3	175.5	172.6	-1.7	205.4	206.6	0.6
30～34	253.4	251.6	-0.7	294.8	294.8	0.0	186.1	182.3	-2.0	227.4	226.0	-0.6
35～39	281.4	280.8	-0.2	357.4	360.4	0.8	183.9	175.6	-4.5	245.0	244.5	-0.2
40～44	305.6	308.0	0.8	418.6	416.1	-0.6	173.2	167.4	-3.3	253.1	249.2	-1.5
45～49	321.9	320.9	-0.3	455.6	462.0	1.4	167.2	161.8	-3.2	250.0	245.3	-1.9
50～54	336.9	333.2	-1.1	483.5	487.2	0.8	170.3	165.2	-3.0	252.2	246.6	-2.2
55～59	331.3	332.8	0.5	485.7	486.0	0.1	171.8	168.5	-1.9	254.8	252.4	-0.9
60～64	241.8	234.1	-3.2	368.1	358.6	-2.6	146.6	144.8	-1.2	221.2	218.6	-1.2
平均年齢(歳)	40.2	40.5		42.3	42.5		43.7	44.5		37.0	37.6	
勤続年数(年)	14.3	14.3		17.0	16.9		11.4	10.8		11.0	11.2	

(7) 役職別にみた賃金

企業全体の常用労働者数が100人以上の企業について、役職別の賃金をみると、男では、部長級が643,500円（平均51.5歳）、対前年増減率1.6%増、課長級が524,500円（同47.4歳）、同1.8%増、係長級が397,800円（同42.6歳）、同2.3%増となっている。

女では、課長級が446,600円（平均46.9歳）、対前年増減率4.2%増、係長級が346,100円（同43.3歳）、同0.1%増となっている。（第9表）

第9表 役職、性別賃金、賃金格差及び平均年齢（産業計、企業規模100人以上）

性、役職		賃 金 (千円)				対前年増減率 (%)		賃金格差 (非役職者20～24歳＝100)				平均年齢 (歳)			
		平成7年	12	16	17	平成16年	17	平成7年	12	16	17	平成7年	12	16	17
男	部長級	627.8	636.3	633.3	643.5	0.8	1.6	318	311	312	318	51.7	52.0	52.0	51.5
	課長級	512.0	517.3	515.1	524.5	0.8	1.8	259	253	254	259	46.5	47.0	47.0	47.4
	係長級	385.9	401.0	388.7	397.8	-1.5	2.3	195	196	191	197	42.0	42.6	42.3	42.6
	非役職者 20～24歳	197.5	204.3	203.0	202.4	-0.9	-0.3	100	100	100	100				
女	部長級	* 531.2	* 574.5	* 584.9	* 629.9	...	...	* 291	* 301	* 305	* 324	* 51.4	* 50.5	* 50.9	* 51.5
	課長級	404.0	436.8	428.8	446.6	-2.1	4.2	221	229	224	229	47.3	47.1	47.4	46.9
	係長級	332.0	344.0	345.6	346.1	0.2	0.1	182	180	180	178	44.1	43.5	43.4	43.3
	非役職者 20～24歳	182.7	190.6	191.5	194.7	0.2	1.7	100	100	100	100				

（注） 非役職者とは、役職者（部長級、課長級、係長級等）以外の者をいう。

(8) 賃金の分布

賃金階級別に労働者の分布をみると、男では、20万円未満が14.4%（前年13.8%）、20万円台が34.9%（同36.4%）、30万円台が24.2%（同24.7%）、40万円台が13.5%（同13.3%）、女では、20万円未満が48.3%（同45.8%）、20万円台が37.1%（同39.6%）となっている（第10表）。

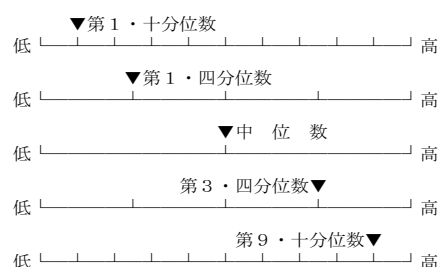
学歴別に賃金の散らばりをみると、男女とも大学・大学院卒が最も大きくなっている（第6図）。

第10表 性、賃金階級、年齢階級別労働者数割合（産業計、企業規模計）

賃 金 階 級	男									
	年齢計	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳
計	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
～ 119.9 (千円)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
120.0 ～ 139.9	0.8	1.8	0.7	0.4	0.3	0.3	0.5	0.6	0.9	3.3
140.0 ～ 159.9	1.3	3.6	1.2	0.6	0.5	0.6	0.7	0.9	1.5	4.1
160.0 ～ 179.9	2.6	8.8	3.1	1.5	1.0	1.0	0.9	1.5	2.2	7.0
180.0 ～ 199.9	4.2	18.7	6.2	2.6	1.6	1.2	1.5	2.0	2.7	8.5
200.0 ～ 219.9	5.5	23.0	11.6	4.3	2.4	1.7	2.0	2.2	3.3	10.0
220.0 ～ 239.9	6.9	20.9	16.1	7.8	3.7	2.8	2.8	3.2	3.7	9.4
240.0 ～ 259.9	7.3	11.6	18.0	10.7	5.4	3.7	3.0	3.5	4.1	6.8
260.0 ～ 279.9	7.4	5.9	15.1	12.7	6.8	4.5	3.9	3.8	4.4	7.4
280.0 ～ 299.9	7.0	2.7	9.8	13.1	8.6	5.3	4.5	4.1	4.6	6.7
300.0 ～ 319.9	6.3	1.4	6.2	11.3	8.7	6.1	4.9	4.6	4.5	4.6
320.0 ～ 339.9	5.9	0.7	4.3	8.9	8.8	6.7	5.4	4.9	4.6	5.1
340.0 ～ 359.9	10.0	0.5	4.1	12.0	15.5	13.2	11.5	9.6	10.5	5.5
360.0 ～ 379.9	8.3	0.2	1.7	6.5	12.9	12.6	11.6	10.3	9.2	4.0
380.0 ～ 399.9	8.0	0.1	1.0	3.7	10.4	13.2	12.6	11.9	11.1	4.1
400.0 ～ 419.9	5.5	0.1	0.4	1.7	5.6	8.7	9.7	10.1	8.0	2.8
420.0 ～ 439.9	6.6	0.0	0.3	1.3	4.6	10.6	12.5	12.8	11.8	4.0
440.0 ～ 459.9	3.4	0.0	0.2	0.4	1.6	4.4	6.6	7.5	6.6	3.4
460.0 ～ 479.9	1.6	—	0.0	0.3	0.8	1.7	2.9	3.8	3.5	1.8
480.0 ～ 499.9	0.6	—	0.0	0.1	0.4	0.7	1.1	1.2	1.4	1.0
500.0 ～ 519.9	0.7	—	0.0	0.2	0.4	1.0	1.5	1.4	1.3	0.8
平 均 値 (千円)	337.8	197.3	239.3	287.3	343.5	392.6	416.1	418.2	399.9	291.2
第1・十分位数 (千円)	184.1	152.4	176.7	201.5	222.0	233.4	232.2	217.0	196.5	149.2
第1・四分位数 (千円)	230.2	172.7	202.7	234.9	268.0	293.0	301.9	293.5	269.6	184.4
中 位 数 (千円)	301.9	195.0	232.3	274.0	324.9	369.1	389.5	394.9	372.9	243.0
第3・四分位数 (千円)	407.6	218.2	265.5	323.1	395.4	461.2	497.8	509.6	497.1	336.2
第9・十分位数 (千円)	535.6	244.5	307.6	382.5	477.0	572.6	625.9	641.5	632.3	512.3
十分位分散係数	0.58	0.24	0.28	0.33	0.39	0.46	0.51	0.54	0.58	0.75
四分位分散係数	0.29	0.12	0.13	0.16	0.20	0.23	0.25	0.27	0.31	0.31

(注) 1) 分位数とは、分布の形を示す値である。具体的には、全労働者を賃金の低い者から高い者へと一列に並べて、全労働者の所定の何番目かに該当する者の賃金である。図示すれば下図のとおりである。

- 第1・十分位数 …… 低い方から数えて全体の10分の1番目に該当する者の賃金
- 第1・四分位数 …… 低い方から数えて全体の4分の1番目に該当する者の賃金
- 中 位 数 …… 低い方（あるいは高い方）から数えて全体の2分の1番目に該当する者の賃金
- 第3・四分位数 …… 高い方から数えて全体の4分の1番目に該当する者の賃金
- 第9・十分位数 …… 高い方から数えて全体の10分の1番目に該当する者の賃金



2) 分散係数とは、分布の広がり（ばらつき）を示す指標の一つであり、次の算式により計算された数値をいう。

一般に、その値が小さいほど分布の広がりの程度が小さいことを示す。

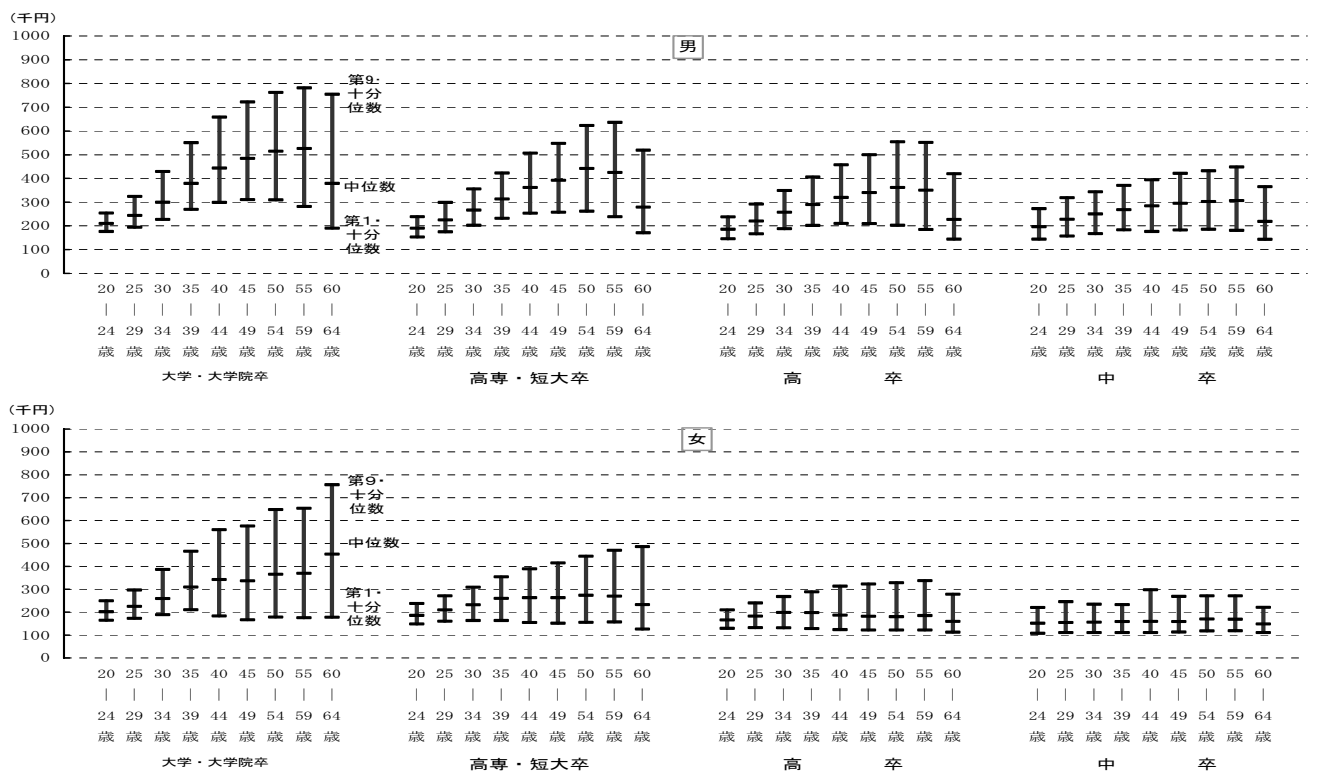
$$\text{十分位分散係数} = \frac{\text{第9・十分位数} - \text{第1・十分位数}}{2 \times \text{中位数}}$$

$$\text{四分位分散係数} = \frac{\text{第3・四分位数} - \text{第1・四分位数}}{2 \times \text{中位数}}$$

第10表 性、賃金階級、年齢階級別労働者数割合（産業計、企業規模計）（続き）

賃 金 階 級	女									
	年齢計	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳
計	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
～ 99.9 (千円)	1.5	0.8	0.5	0.8	1.5	2.0	2.0	2.1	2.1	3.8
100.0 ～ 119.9	3.6	2.2	1.7	2.1	2.7	3.9	4.7	5.4	5.8	11.3
120.0 ～ 139.9	7.7	7.0	4.3	4.8	5.4	7.9	9.5	11.2	11.2	17.4
140.0 ～ 159.9	10.8	14.3	8.0	6.8	8.1	10.2	11.4	12.8	12.7	17.2
160.0 ～ 179.9	12.3	22.9	12.3	9.0	8.2	9.6	10.2	11.0	11.9	12.6
180.0 ～ 199.9	12.4	21.8	17.8	10.5	8.3	8.9	9.0	9.3	10.4	8.4
200.0 ～ 219.9	11.2	15.1	17.3	13.9	9.0	7.2	7.4	7.4	8.0	6.6
220.0 ～ 239.9	9.1	8.4	14.0	13.1	9.1	6.8	6.3	6.2	6.5	4.4
240.0 ～ 259.9	7.4	3.6	9.8	12.0	8.9	7.3	5.9	5.6	5.2	3.0
260.0 ～ 279.9	5.4	1.9	5.8	8.1	8.7	6.0	5.1	4.2	3.9	2.0
280.0 ～ 299.9	4.0	0.9	3.4	6.3	7.2	5.1	4.3	3.4	3.2	1.6
300.0 ～ 319.9	3.2	0.5	2.0	4.1	6.2	4.6	3.7	3.6	3.3	1.7
320.0 ～ 359.9	4.2	0.4	1.8	4.2	7.5	7.3	6.5	5.5	4.6	2.2
360.0 ～ 399.9	2.5	0.1	0.7	2.0	4.0	5.3	4.6	3.7	3.2	1.0
400.0 ～ 449.9	1.9	0.0	0.3	1.0	2.3	3.4	3.9	3.4	2.8	2.1
450.0 ～ 499.9	0.9	0.0	0.1	0.4	1.0	1.8	1.9	1.8	2.0	0.9
500.0 ～ 599.9	0.9	0.0	0.2	0.4	0.9	1.4	1.8	2.0	1.8	1.7
600.0 ～ 699.9	0.4	-	0.0	0.3	0.3	0.6	0.9	0.9	0.9	1.1
700.0 ～ 799.9	0.2	0.0	0.0	0.1	0.3	0.5	0.2	0.2	0.4	0.4
800.0 ～	0.2	0.0	0.0	0.1	0.4	0.3	0.4	0.3	0.2	0.5
平 均 値 (千円)	222.5	185.1	210.6	230.4	245.9	245.3	240.4	230.3	225.7	196.4
第1・十分位数 (千円)	133.5	139.9	150.2	148.1	141.0	131.3	128.1	125.0	124.1	112.9
第1・四分位数 (千円)	162.3	160.6	177.3	183.0	177.6	161.8	155.6	149.8	149.5	131.7
中 位 数 (千円)	202.8	182.4	206.0	223.1	234.7	220.9	207.4	195.6	191.6	160.3
第3・四分位数 (千円)	257.1	207.0	238.5	264.5	293.9	300.6	295.0	278.7	265.9	210.9
第9・十分位数 (千円)	329.8	232.5	274.5	311.2	353.7	383.5	390.9	385.3	374.6	318.8
十分位分散係数	0.48	0.25	0.30	0.37	0.45	0.57	0.63	0.67	0.65	0.64
四分位分散係数	0.23	0.13	0.15	0.18	0.25	0.31	0.34	0.33	0.30	0.25

第6図 学歴、性、年齢階級別第1・十分位数、中位数及び第9・十分位数（産業計、企業規模計）



（注） 第10表（注） 1） 参照。

(9) 標準労働者の賃金

標準労働者について、学歴別に賃金がピークとなる年齢階級をみると、男では、大卒及び高卒が55～59歳でそれぞれ599、800円、478、700円、高専・短大卒が50～54歳で537、700円となっている。

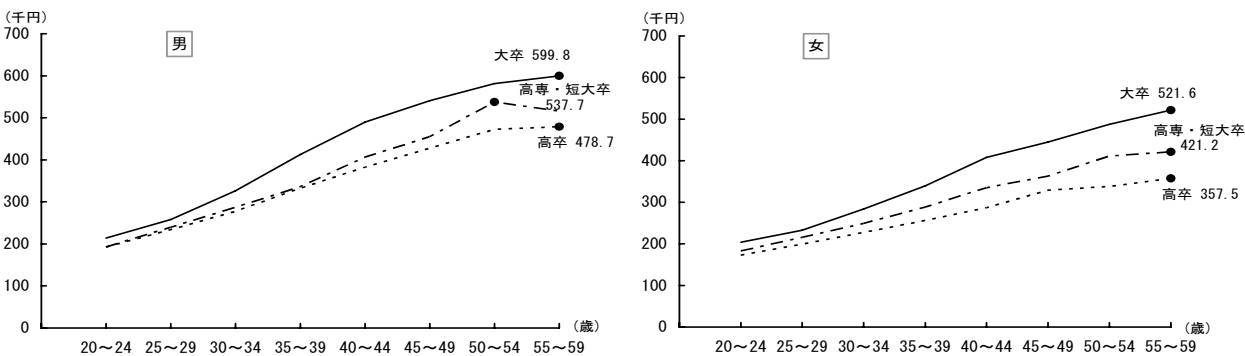
女では、各学歴とも55～59歳で大卒が521、600円、高専・短大卒が421、200円、高卒が357、500円となっている。（第7図、第11表）

年齢階級間の賃金格差（20～24歳の賃金＝100）を学歴別にみると、男は、大卒及び高卒では賃金のピークとなる55～59歳で、それぞれ281、249、高専・短大卒では賃金のピークとなる50～54歳で279となっている。

女は、各学歴の賃金がピークとなる55～59歳で、大卒が255、高専・短大卒が230、高卒が207となっている。（第12表）

年齢階級別に男女間の賃金格差（男＝100）をみると、おおむね学歴が高くなるほど格差が小さくなっている（第13表）。

第7図 標準労働者の性、学歴、年齢階級別賃金（産業計、企業規模計）



第11表 標準労働者の学歴、性、年齢階級別賃金及び対前年増減率（産業計、企業規模計）

性、年齢階級 (歳)		大卒			高専・短大卒			高卒		
		賃金 (千円)		対前年 増減率 (%)	賃金 (千円)		対前年 増減率 (%)	賃金 (千円)		対前年 増減率 (%)
		平成16年	17		平成16年	17		平成16年	17	
男	計	394.4	404.0	2.4	296.7	302.5	2.0	330.8	334.6	1.1
	20～24	217.2	213.7	-1.6	193.3	192.8	-0.3	193.8	192.6	-0.6
	25～29	257.6	258.3	0.3	235.7	240.1	1.9	234.5	234.1	-0.2
	30～34	326.8	326.6	-0.1	281.6	287.2	2.0	278.0	277.6	-0.1
	35～39	413.0	412.7	-0.1	341.9	336.3	-1.6	331.5	332.5	0.3
	40～44	476.0	489.8	2.9	408.1	406.5	-0.4	380.6	382.6	0.5
	45～49	533.0	541.2	1.5	462.6	455.2	-1.6	430.7	427.8	-0.7
	50～54	585.5	581.4	-0.7	535.3	537.7	0.4	472.3	472.5	0.0
	55～59	599.8	599.8	0.0	522.1	516.0	-1.2	477.9	478.7	0.2
女	計	250.9	257.0	2.4	226.2	232.2	2.7	221.9	224.3	1.1
	20～24	204.2	204.3	0.0	184.8	183.4	-0.8	171.7	172.9	0.7
	25～29	229.7	233.0	1.4	212.3	216.0	1.7	198.5	199.0	0.3
	30～34	282.6	283.8	0.4	249.0	249.2	0.1	226.9	227.5	0.3
	35～39	337.0	339.3	0.7	286.3	288.4	0.7	255.6	256.1	0.2
	40～44	402.8	408.1	1.3	331.6	335.2	1.1	288.7	286.9	-0.6
	45～49	427.5	444.7	4.0	365.3	363.1	-0.6	323.7	329.5	1.8
	50～54	514.0	487.5	-5.2	406.6	411.1	1.1	340.8	337.9	-0.9
	55～59	528.9	521.6	-1.4	408.4	421.2	3.1	367.3	357.5	-2.7

(注) 1. 標準労働者の年齢階級区分の計の数値には、上掲の年齢階級のほか、20歳未満及び60歳以上の者を含む。以下同じ。
2. 標準労働者の大卒には、大学院卒を含まない。以下同じ。

第12表 標準労働者の学歴、性別年齢階級間賃金格差（産業計、企業規模計）

(20～24歳＝100)

性、年齢階級 (歳)		大 卒				高専・短大卒				高 卒			
		平成7年	12	16	17	平成7年	12	16	17	平成7年	12	16	17
男	計	178	180	182	189	136	146	153	157	165	171	171	174
	20～24	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	25～29	122	119	119	121	123	122	122	125	124	121	121	122
	30～34	156	155	150	153	155	149	146	149	149	148	143	144
	35～39	188	191	190	193	186	184	177	174	177	173	171	173
	40～44	231	222	219	229	227	213	211	211	209	203	196	199
	45～49	268	258	245	253	260	262	239	236	240	230	222	222
	50～54	302	287	270	272	281	280	277	279	276	258	244	245
	55～59	305	293	276	281	293	267	270	268	273	265	247	249
女	計	118	123	123	126	110	118	122	127	113	123	129	130
	20～24	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	25～29	114	113	112	114	118	119	115	118	115	116	116	115
	30～34	138	142	138	139	141	138	135	136	133	133	132	132
	35～39	164	171	165	166	163	162	155	157	154	152	149	148
	40～44	200	206	197	200	186	180	179	183	175	174	168	166
	45～49	218	230	209	218	190	204	198	198	191	189	189	191
	50～54	262	250	252	239	228	240	220	224	218	216	198	195
	55～59	266	288	259	255	221	251	221	230	211	216	214	207

第13表 標準労働者の学歴、年齢階級別男女間賃金格差（産業計、企業規模計）

(男＝100)

年齢階級 (歳)	大 卒			高専・短大卒			高 卒		
	平成12年	16	17	平成12年	16	17	平成12年	16	17
20～24	95	94	96	94	96	95	89	89	90
25～29	90	89	90	91	90	90	86	85	85
30～34	86	86	87	86	88	87	80	82	82
35～39	85	82	82	82	84	86	78	77	77
40～44	88	85	83	79	81	82	76	76	75
45～49	85	80	82	73	79	80	73	75	77
50～54	82	88	84	80	76	76	75	72	72
55～59	93	88	87	88	78	82	73	77	75

(10) 雇用形態別にみた賃金

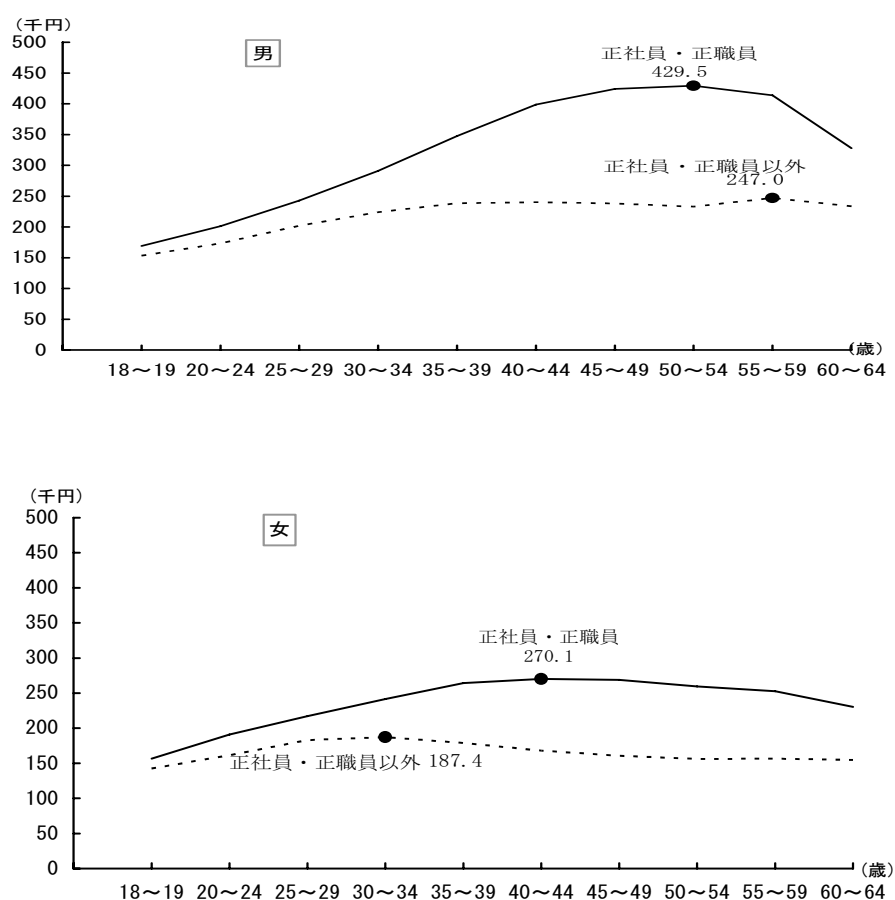
雇用形態別の賃金をみると、男では、正社員・正職員が348,100円（平均41.3歳、14.1年勤続）、正社員・正職員以外が221,300円（同45.1歳、6.0年勤続）となっており、女では、正社員・正職員が239,200円（同37.9歳、9.7年勤続）、正社員・正職員以外が168,400円（同41.2歳、5.5年勤続）となっている。

年齢階級別に雇用形態間の賃金格差（正社員・正職員＝100）をみると、男女とも40歳～59歳の年齢階級で格差が大きくなっている。（第8図、第14表）

高卒について、年齢階級別に賃金階級別の労働者数の分布をみると、男の高卒の最も労働者が集中する賃金階級は、正社員・正職員では、年齢階級が上がるにつれて上昇し、40～59歳の年齢階級で30万円台に集中するのに対し、正社員・正職員以外では、全ての年齢階級において10万円台に集中している。さらに、労働者の中間層の50%が占める賃金の範囲（第1・四分位数～第3・四分位数の範囲）についてみると、20～24歳階級で正社員・正職員170,100～211,800円、正社員・正職員以外138,900～192,000円であったものが、50～54歳階級では正社員・正職員288,200～461,400円、正社員・正職員以外165,100～250,700円と正社員・正職員以外の賃金水準は低くなっている。女の高卒についても、同様の傾向がみられるが、男に比べると正社員・正職員の賃金水準は低い。（第9図、第15表）

また、企業規模別にみると、正社員・正職員以外では正社員・正職員に比べると企業規模間格差は小さい（第16表）。

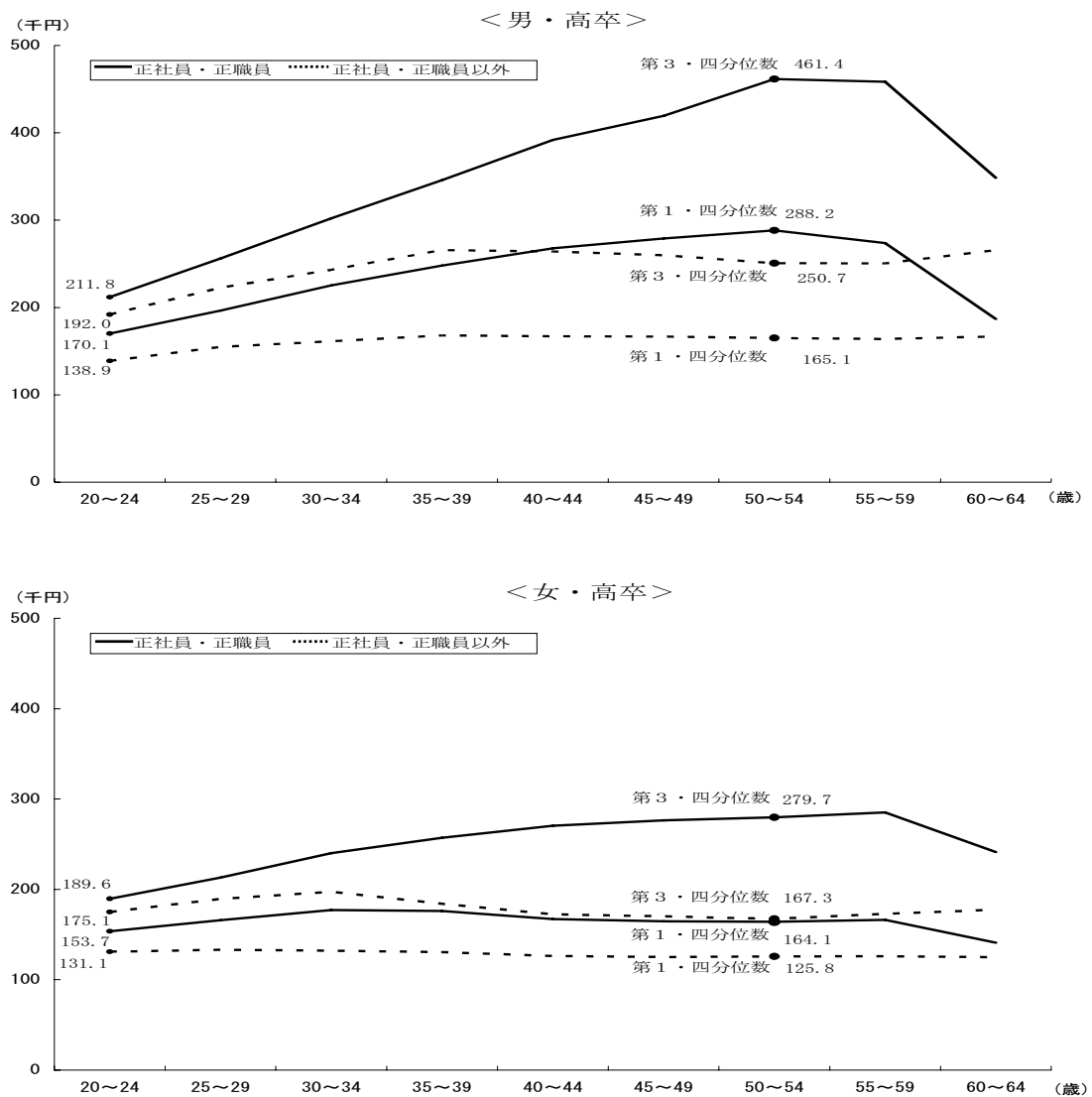
第8図 性、年齢階級、雇用形態別賃金（産業計、企業規模計）



第14表 性、年齢階級、雇用形態別賃金及び雇用形態間賃金格差（産業計、企業規模計）

年齢階級 (歳)	賃 金 (千円)				雇用形態間格差 (正社員・正職員=100)	
	男		女		男	女
	正社員・正職員	正社員・正職員以外	正社員・正職員	正社員・正職員以外		
計	348.1	221.3	239.2	168.4	64	70
18～19	169.1	153.5	156.6	142.6	91	91
20～24	201.2	173.5	190.9	161.5	86	85
25～29	243.0	201.9	217.1	183.1	83	84
30～34	291.1	224.0	241.6	187.4	77	78
35～39	347.7	238.4	264.3	179.0	69	68
40～44	398.7	240.3	270.1	168.2	60	62
45～49	424.1	238.0	269.0	160.8	56	60
50～54	429.5	232.8	259.3	156.3	54	60
55～59	414.0	247.0	252.9	156.5	60	62
60～64	327.9	233.5	230.5	154.8	71	67
平均年齢(歳)	41.3	45.1	37.9	41.2		
勤続年数(年)	14.1	6.0	9.7	5.5		

第9図 性、年齢階級、雇用形態別四分位数（産業計、企業規模計）



第15表 性、年齢階級、雇用形態、賃金階級別労働者割合（産業計、企業規模計）

<男・高卒>

		(%)								
雇用形態、賃金階級	年齢計	20～ 24歳	25～ 29歳	30～ 34歳	35～ 39歳	40～ 44歳	45～ 49歳	50～ 54歳	55～ 59歳	60～ 64歳
正社員・正職員	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
～ 99.9(千円)	0.2	0.3	0.2	0.1	0.1	0.1	0.2	0.2	0.3	1.1
100.0 ～ 199.9	15.3	63.9	27.9	11.1	7.1	5.4	5.2	6.2	9.1	30.3
200.0 ～ 299.9	38.4	34.6	62.9	62.9	46.6	33.1	26.7	21.7	21.9	34.0
300.0 ～ 399.9	26.4	1.1	8.0	22.8	34.9	38.9	37.2	30.6	28.5	16.2
400.0 ～ 499.9	12.5	0.1	0.8	2.6	9.2	16.8	20.1	23.8	22.4	9.7
500.0 ～ 599.9	4.5	0.0	0.2	0.3	1.3	4.1	7.0	10.7	10.9	4.2
600.0 ～ 699.9	1.7	-	0.1	0.1	0.4	1.0	2.6	4.5	4.3	2.6
700.0 ～ 799.9	0.6	-	0.0	0.1	0.1	0.3	0.6	1.7	1.8	1.0
800.0 ～ 899.9	0.2	-	0.0	0.0	0.1	0.1	0.2	0.4	0.5	0.4
900.0 ～ 999.9	0.1	-	-	0.0	0.0	0.2	0.1	0.2	0.2	0.1
1000.0 ～	0.1	-	-	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.2	0.3
正社員・正職員以外	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
～ 99.9(千円)	1.1	2.4	1.1	1.0	0.8	0.7	1.1	1.1	0.6	0.8
100.0 ～ 199.9	53.4	77.3	60.7	50.5	45.0	47.8	45.7	48.5	45.4	44.6
200.0 ～ 299.9	34.9	19.5	34.1	38.7	37.7	35.4	37.1	38.7	39.6	41.5
300.0 ～ 399.9	7.2	0.8	3.4	8.0	11.8	9.0	10.7	8.2	9.1	8.4
400.0 ～ 499.9	2.3	0.0	0.5	1.1	4.4	5.6	3.4	2.2	4.0	2.6
500.0 ～ 599.9	0.7	0.0	0.1	0.5	0.4	0.6	1.5	0.7	0.9	1.4
600.0 ～ 699.9	0.2	-	0.1	0.2	0.0	0.2	0.2	0.4	0.3	0.3
700.0 ～ 799.9	0.1	-	-	0.0	-	0.6	-	0.2	0.1	0.2
800.0 ～ 899.9	0.0	-	-	-	-	-	0.0	0.0	0.0	0.1
900.0 ～ 999.9	0.0	-	-	0.0	-	-	0.2	-	-	-
1000.0 ～	0.0	-	-	0.0	-	-	0.0	-	0.0	0.1

(注) 〇は、各年齢階級において、労働者割合が最も高い賃金階級である。以下同じ。

<女・高卒>

		(%)								
雇用形態、賃金階級	年齢計	20～ 24歳	25～ 29歳	30～ 34歳	35～ 39歳	40～ 44歳	45～ 49歳	50～ 54歳	55～ 59歳	60～ 64歳
正社員・正職員	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
～ 99.9(千円)	1.1	0.7	0.6	1.0	1.5	1.4	0.9	1.1	1.0	2.5
100.0 ～ 199.9	51.2	83.3	63.4	41.7	38.1	42.7	44.7	44.5	42.9	58.2
200.0 ～ 299.9	35.7	15.8	34.2	52.4	49.8	39.4	35.5	33.7	33.9	25.2
300.0 ～ 399.9	8.9	0.2	1.7	4.4	9.2	13.7	13.3	15.0	15.0	7.0
400.0 ～ 499.9	2.1	0.0	0.1	0.3	1.0	2.1	3.9	4.2	4.7	4.0
500.0 ～ 599.9	0.6	-	0.0	0.1	0.2	0.5	1.1	1.1	1.3	2.0
600.0 ～ 699.9	0.2	-	-	0.0	0.1	0.2	0.2	0.3	0.7	0.8
700.0 ～ 799.9	0.1	-	0.0	-	0.0	0.0	0.1	0.1	0.2	0.2
800.0 ～ 899.9	0.1	0.0	-	-	0.0	0.0	0.1	0.1	0.2	0.1
900.0 ～ 999.9	0.0	-	-	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
1000.0 ～	0.0	-	-	-	0.0	-	0.0	0.0	0.0	0.1
正社員・正職員以外	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
～ 99.9(千円)	5.2	4.0	3.3	3.6	5.5	6.4	6.2	5.4	5.6	5.6
100.0 ～ 199.9	81.0	83.7	79.3	72.5	76.5	81.1	83.2	84.8	83.6	80.8
200.0 ～ 299.9	12.6	12.0	16.0	21.3	17.1	10.6	9.2	8.9	10.1	12.5
300.0 ～ 399.9	1.0	0.3	1.3	2.2	0.7	0.9	1.3	0.7	0.7	0.9
400.0 ～ 499.9	0.1	0.0	-	0.2	0.1	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1
500.0 ～ 599.9	0.0	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
600.0 ～ 699.9	0.0	-	-	-	-	0.1	-	0.0	0.0	-
700.0 ～ 799.9	0.1	0.0	-	-	-	0.9	-	0.0	0.0	-
800.0 ～ 899.9	0.0	-	-	-	-	-	-	0.0	0.0	0.0
900.0 ～ 999.9	0.0	-	-	-	-	-	-	0.0	-	-
1000.0 ～	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第16表 性、雇用形態、企業規模別賃金及び企業規模間賃金格差（産業計）

性、雇用形態		賃 金 (千円)			企業規模間格差 (大企業=100)	
		大企業	中企業	小企業	中企業	小企業
男	正社員・正職員	410.2	336.6	297.8	82	73
	正社員・正職員以外	233.8	216.9	218.1	93	93
女	正社員・正職員	273.4	240.2	213.4	88	78
	正社員・正職員以外	183.6	168.9	151.3	92	82

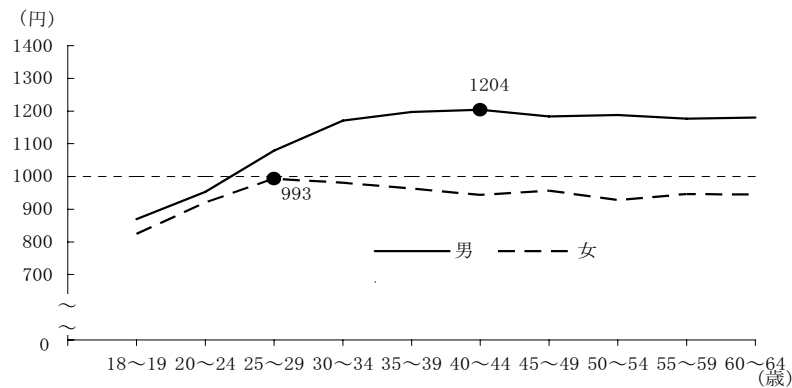
2 短時間労働者の賃金

(1) 年齢階級別にみた賃金

短時間労働者の1時間当たり賃金は、男1,069円、女942円となっている。

1時間当たり賃金がピークとなる年齢階級をみると、男では40～44歳で1,204円、女は25～29歳で993円となっている。年齢階級間格差は、女が男より小さい。(第10図、第17表)

第10図 短時間労働者の性、年齢階級別1時間当たり賃金（産業計、企業規模計）



第17表 短時間労働者の性別1時間当たり賃金及び年齢階級間賃金格差（産業計、企業規模計）

年齢階級 (歳)	賃 金 (円)		賃 金 格 差 (20～24歳=100)	
	男	女	男	女
計	1,069	942	112	102
～17	781	757	82	82
18～19	870	824	91	90
20～24	953	920	100	100
25～29	1,079	993	113	108
30～34	1,171	981	123	107
35～39	1,197	963	126	105
40～44	1,204	944	126	103
45～49	1,184	956	124	104
50～54	1,188	928	125	101
55～59	1,177	946	124	103
60～64	1,180	945	124	103
65～	1,146	974	120	106
平均年齢 (歳)	40.1	43.5		

(2) 企業規模別にみた賃金

企業規模別に1時間当たり賃金をみると、男では、大企業が1,032円、中企業が1,075円、小企業が1,095円となっており、大企業より中企業及び小企業が高くなっている。

女では、大企業が942円、中企業が961円、小企業が923円となっている。(第18表)

第18表 短時間労働者の性、企業規模別1時間当たり賃金及び企業規模間賃金格差（産業計）

性	1時間当たり賃金(円)			賃金格差 (大企業=100)	
	大 企 業	中 企 業	小 企 業	中 企 業	小 企 業
男	1,032	1,075	1,095	104	106
女	942	961	923	102	98

(3) 産業別にみた賃金

製造業、卸売・小売業、飲食店、宿泊業、サービス業（他に分類されないもの）について、1時間当たり賃金をみると、男では、製造業及びサービス業（他に分類されないもの）が1,000円を超えているのに対し、卸売・小売業が900円台、飲食店、宿泊業が800円台となっている。

女では、サービス業（他に分類されないもの）が900円台、他の産業が800円台となっている。（第19表）

第19表 短時間労働者の産業、性別1時間当たり賃金及び労働者構成比（企業規模計）

産 業	1時間当たり賃金（円）		労働者構成比（産業計=100）（%）	
	男	女	男	女
製 造 業	1,068	853	8.6	14.3
卸 売 ・ 小 売 業	985	889	36.4	37.9
飲 食 店 , 宿 泊 業	893	869	15.3	12.2
サ ー ビ ス 業 （他に分類されないもの）	1,148	980	18.9	15.6

(4) 実労働日数、所定内実労働時間数、勤続年数

実労働日数（平成17年6月）をみると、男では16.5日、女では17.9日、1日当たりの所定内実労働時間数をみると、男では5.5時間、女では5.2時間、勤続年数をみると、男では、3.7年、女では5.0年となっている（第20表）。

第20表 短時間労働者の性別実労働日数、1日当たり所定内実労働時間数及び勤続年数
（産業計、企業規模計）

実労働日数 （日）		1日当たり所定内 実労働時間数（時間）		勤続年数 （年）	
男	女	男	女	男	女
16.5	17.9	5.5	5.2	3.7	5.0

3 新規学卒者の初任給

(1) 学歴別にみた初任給

ア 平成17年の初任給を高卒以上の学歴別にみると、以下のとおりになっている。

男女計	大学院修士課程修了	220,400円	
	大卒	193,900円	(対前年増減率 -0.6%)
	高専・短大卒	166,600円	(〃 0.2%)
	高卒	152,900円	(〃 0.2%)
男	大学院修士課程修了	221,000円	
	大卒	196,700円	(対前年増減率 -0.8%)
	高専・短大卒	170,300円	(〃 -0.2%)
	高卒	155,700円	(〃 -0.3%)
女	大学院修士課程修了	216,600円	
	大卒	189,300円	(対前年増減率 -0.1%)
	高専・短大卒	164,200円	(〃 0.0%)
	高卒	148,000円	(〃 0.5%)

男女計では、大卒を除き、高専・短大卒、高卒ともに前年を上回っている。

これを男女別にみると、男は各学歴とも前年を下回り、女は大卒が前年を下回り、高専・短大卒が横ばい、高卒が前年を上回っている。(第21表、第11図)

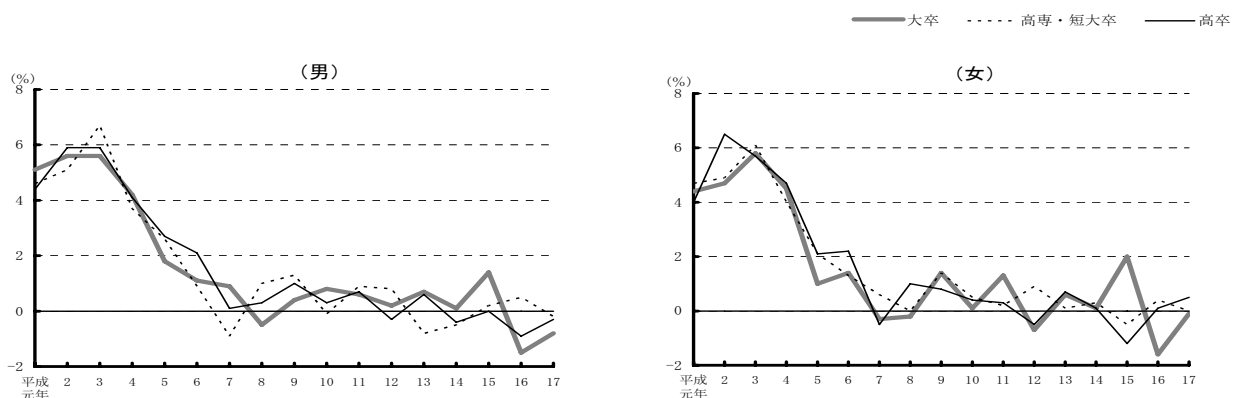
第21表 性、学歴別初任給額の推移(産業計、企業規模計)

(単位：千円)

性	大卒					高専・短大卒					高卒				
	平成13	14	15	16	17	平成13	14	15	16	17	平成13	14	15	16	17
男女計	195.1 (0.7)	195.1 (0.0)	198.1 (1.5)	195.0 (-1.6)	193.9 (-0.6)	165.9 (0.0)	166.0 (0.1)	165.3 (-0.4)	166.3 (0.6)	166.6 (0.2)	154.0 (0.6)	154.0 (0.0)	152.9 (-0.7)	152.6 (-0.2)	152.9 (0.2)
男	198.3	198.5	201.3	198.3	196.7	170.3	169.5	169.8	170.7	170.3	158.1	157.5	157.5	156.1	155.7
女	188.6	188.8	192.5	189.5	189.3	163.8	164.3	163.5	164.2	164.2	148.7	148.8	147.0	147.2	148.0

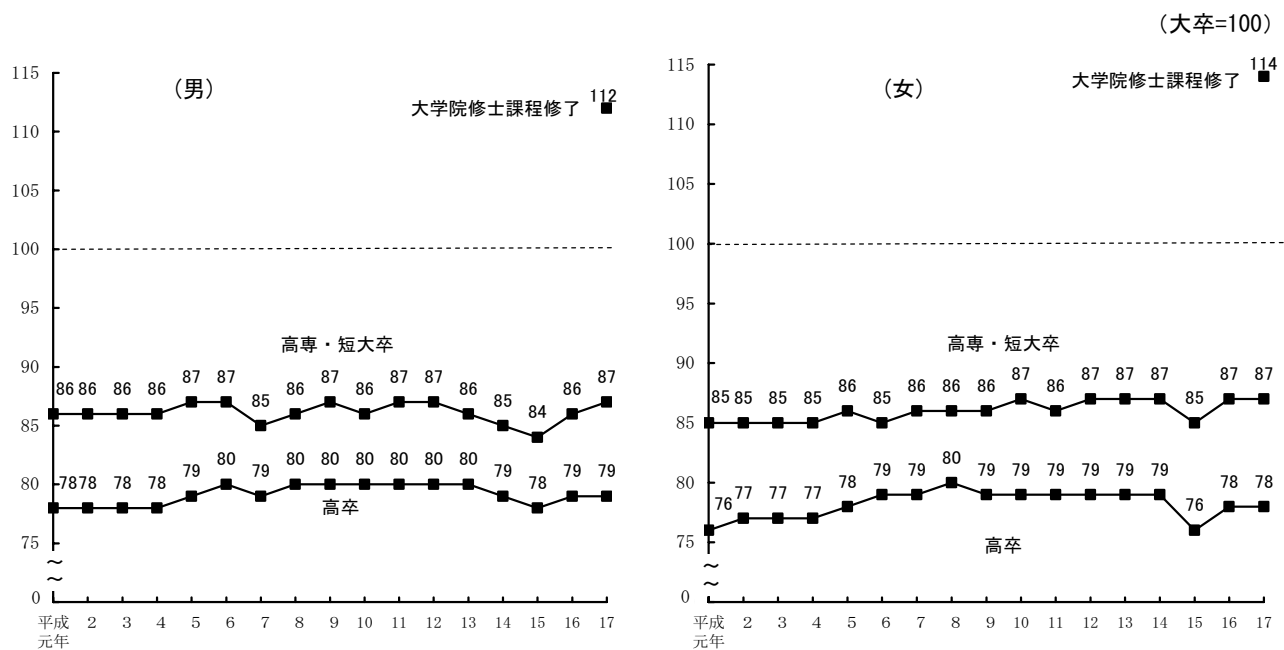
(注) 1 初任給額は、新規学卒採用者数による加重平均である(以下同じ)。
2 ()内は、対前年増減率(%)である。

第11図 性、学歴別初任給額の対前年増減率の推移(産業計、企業規模計)



イ 初任給の学歴間格差(大卒＝１００)を男女別にみると、男は大学院修士課程修了が１１２、高専・短大卒が８７、高卒が７９、女は大学院修士課程修了が１１４、高専・短大卒が８７、高卒が７８となっている(第12図)。

第12図 性別初任給額の学歴間格差の推移(産業計、企業規模計)



(2) 企業規模別にみた初任給

企業規模別の初任給を学歴別にみると、男女計は、大学院修士課程修了では大企業（常用労働者1,000人以上）が22万円台、中企業（同100～999人）が21万円台、小企業（同10～99人）が20万円台、大卒では大企業と中企業が19万円台、小企業が18万円台、高専・短大卒では各規模とも16万円台、高卒では各規模とも15万円台となっている。

これを男女別にみると、大卒では、男は各規模とも19万円台、女は中企業が19万円台、大企業と小企業が18万円台、高専・短大卒では、男は大企業と中企業で17万円台、小企業で16万円台、女は各規模とも16万円台、高卒では、男は各規模とも15万円台、女は大企業が15万円台、中企業と小企業が14万円台となっている。

初任給の企業規模間格差（大企業＝100）を男女計でみると、大卒と高専・短大卒の中企業は大企業とほぼ同じであるが、高卒では、97となっている。また、大学院修士課程修了では、他の学歴に比べ企業規模間格差が大きくなっている。（第22表）

第22表 企業規模、性、学歴別初任給額及び対前年増減率、企業規模間格差の推移（産業計）

性、企業規模			大学院 修士課 程修了	大 卒					高専・短大卒					高 卒				
			平成 17	平成 13	14	15	16	17	平成 13	14	15	16	17	平成 13	14	15	16	17
初任給額（千円）	男女計	企業規模計	220.4	195.1	195.1	198.1	195.0	193.9	165.9	166.0	165.3	166.3	166.6	154.0	154.0	152.9	152.6	152.9
		大企業	222.6	196.5	197.0	198.5	197.1	193.6	165.5	167.6	166.8	168.2	168.2	156.6	155.6	155.9	156.8	156.8
		中企業	218.0	196.1	195.0	200.2	196.3	195.9	166.7	167.6	166.0	167.9	169.3	154.2	153.6	152.2	151.8	152.6
		小企業	209.3	188.7	189.2	192.2	187.9	187.4	165.4	163.9	164.1	164.5	163.0	152.3	153.8	152.5	151.8	150.3
	男	企業規模計	221.0	198.3	198.5	201.3	198.3	196.7	170.3	169.5	169.8	170.7	170.3	158.1	157.5	157.5	156.1	155.7
		大企業	223.0	200.0	201.3	201.5	199.9	196.4	172.4	174.6	173.0	174.1	173.9	158.4	157.8	158.0	159.3	157.6
		中企業	217.9	198.4	197.6	203.2	199.8	198.6	168.0	167.9	169.3	170.0	170.3	157.0	157.7	156.4	154.7	155.5
		小企業	213.5	192.6	192.7	195.4	190.9	190.2	171.9	168.7	169.0	170.0	168.3	159.2	157.3	158.3	156.0	154.3
	女	企業規模計	216.6	188.6	188.8	192.5	189.5	189.3	163.8	164.3	163.5	164.2	164.2	148.7	148.8	147.0	147.2	148.0
		大企業	219.5	188.7	189.4	192.3	191.8	189.2	162.9	164.4	164.2	164.4	164.7	153.1	151.5	152.0	151.0	154.4
		中企業	218.4	191.1	189.9	194.9	190.5	191.3	165.9	167.4	164.4	166.6	168.4	151.0	148.3	147.9	148.1	148.4
		小企業	198.1	183.4	184.0	187.3	183.9	183.2	162.4	161.9	162.6	162.6	160.6	143.4	148.5	143.3	144.3	144.5
対前年増減率（%）	男女計	企業規模計	—	0.7	0.0	1.5	-1.6	-0.6	0.0	0.1	-0.4	0.6	0.2	0.6	0.0	-0.7	-0.2	0.2
		大企業	—	0.7	0.3	0.8	-0.7	-1.8	0.0	1.3	-0.5	0.8	0.0	1.0	-0.6	0.2	0.6	0.0
		中企業	—	0.4	-0.6	2.7	-1.9	-0.2	-1.8	0.5	-1.0	1.1	0.8	0.5	-0.4	-0.9	-0.3	0.5
		小企業	—	0.6	0.3	1.6	-2.2	-0.3	1.6	-0.9	0.1	0.2	-0.9	0.4	1.0	-0.8	-0.5	-1.0
	男	企業規模計	—	0.7	0.1	1.4	-1.5	-0.8	-0.8	-0.5	0.2	0.5	-0.2	0.6	-0.4	0.0	-0.9	-0.3
		大企業	—	0.5	0.7	0.1	-0.8	-1.8	-0.7	1.3	-0.9	0.6	-0.1	1.5	-0.4	0.1	0.8	-1.1
		中企業	—	1.0	-0.4	2.8	-1.7	-0.6	-1.6	-0.1	0.8	0.4	0.2	-0.3	0.4	-0.8	-1.1	0.5
		小企業	—	-0.6	0.1	1.4	-2.3	-0.4	0.0	-1.9	0.2	0.6	-1.0	1.2	-1.2	0.6	-1.5	-1.1
	女	企業規模計	—	0.6	0.1	2.0	-1.6	-0.1	0.1	0.3	-0.5	0.4	0.0	0.7	0.1	-1.2	0.1	0.5
		大企業	—	0.9	0.4	1.5	-0.3	-1.4	-0.2	0.9	-0.1	0.1	0.2	-0.1	-1.0	0.3	-0.7	2.3
		中企業	—	-0.9	-0.6	2.6	-2.3	0.4	-2.0	0.9	-1.8	1.3	1.1	1.4	-1.8	-0.3	0.1	0.2
		小企業	—	2.6	0.3	1.8	-1.8	-0.4	1.9	-0.3	0.4	0.0	-1.2	0.2	3.6	-3.5	0.7	0.1
規模間格差	男女計	中企業	98	100	99	101	100	101	101	100	100	100	101	98	99	98	97	97
		小企業	94	96	96	97	95	97	100	98	98	98	97	97	99	98	97	96
	男	中企業	98	99	98	101	100	101	97	96	98	98	98	99	100	99	97	99
		小企業	96	96	96	97	95	97	100	97	98	98	97	101	100	100	98	98
	女	中企業	99	101	100	101	99	101	102	102	100	101	102	99	98	97	98	96
		小企業	90	97	97	97	96	97	100	98	99	99	98	94	98	94	96	94

（注） 1 常用労働者1,000人以上を大企業、100～999人を中企業、10～99人を小企業としている。

2 規模間格差は、大企業の初任給を100としている。

(3) 産業別にみた初任給

主要産業別の初任給を学歴別にみると、男女計の各学歴で最も高い産業は、大卒と高卒は情報通信業で、それぞれ205,200円、161,600円、高専・短大卒では建設業で178,000円となっている。一方、最も低いのは、大卒と高専・短大卒では金融・保険業で、それぞれ182,600円、153,700円、高卒では医療、福祉で142,900円となっている。

これを男女別にみると、男は、大卒、高専・短大卒、高卒の各学歴とも情報通信業が最も高く、それぞれ206,800円、179,900円、164,200円となっている。女は、大卒と高卒では情報通信業が最も高く、それぞれ201,800円、157,100円となっている。一方、最も低いのは、男では、大卒と高卒が医療、福祉で、それぞれ182,100円、140,400円、高専・短大卒が飲食店、宿泊業で155,400円となっており、女では、大卒で運輸業が177,200円、高専・短大卒で金融・保険業が153,000円、高卒で医療、福祉が143,500円と低くなっている。（第23表）

第23表 産業、性、学歴別初任給額及び対前年増減率の推移（企業規模計）

性、産業			大学院 修士課程 修了	大卒				高専・短大卒				高卒			
				初任給額(千円)		対前年 増減率(%)	初任給額(千円)		対前年 増減率(%)	初任給額(千円)		対前年 増減率(%)			
				平成17年	平成16年		17	平成16年		17	平成16年		17		
男	産業計	220.4	195.0	193.9	-0.6	166.3	166.6	0.2	152.6	152.9	0.2				
	建設業	218.4	193.2	198.9	3.0	170.6	178.0	4.3	161.5	154.5	-4.3				
	製造業	220.7	197.6	195.6	-1.0	167.1	167.4	0.2	153.4	154.1	0.5				
	情報通信業	220.8	202.6	205.2	1.3	177.8	173.4	-2.5	152.9	161.6	5.7				
	運輸業	204.3	190.2	184.0	-3.3	168.6	166.6	-1.2	155.7	155.3	-0.3				
女	卸売・小売業	213.6	196.3	196.7	0.2	163.3	169.3	3.7	149.3	152.6	2.2				
	金融・保険業	225.4	185.0	182.6	-1.3	154.9	153.7	-0.8	142.4	147.8	3.8				
	飲食店、宿泊業	* 191.6	188.7	186.7	-1.1	160.7	156.6	-2.6	150.5	147.8	-1.8				
	医療、福祉	217.9	180.6	185.5	2.7	166.6	165.9	-0.4	144.7	142.9	-1.2				
	教育、学習支援業	230.5	194.4	197.0	1.3	169.0	166.5	-1.5	* 151.6	151.1	...				
計	サービス業 (他に分類されないもの)	222.4	203.5	192.4	-5.5	169.3	163.3	-3.5	152.2	152.0	-0.1				
男	産業計	221.0	198.3	196.7	-0.8	170.7	170.3	-0.2	156.1	155.7	-0.3				
	建設業	219.4	196.7	201.0	2.2	172.1	179.6	4.4	162.7	155.2	-4.6				
	製造業	221.4	199.5	196.6	-1.5	169.5	169.6	0.1	155.7	156.1	0.3				
	情報通信業	221.0	203.1	206.8	1.8	179.8	179.9	0.1	155.2	164.2	5.8				
	運輸業	202.7	195.1	187.1	-4.1	167.9	172.3	2.6	162.6	158.8	-2.3				
	卸売・小売業	214.7	196.6	198.4	0.9	164.2	171.0	4.1	152.9	155.9	2.0				
	金融・保険業	223.5	190.9	187.7	-1.7	* 196.6	172.1	...	* 150.0	* 162.1	...				
	飲食店、宿泊業	* 196.0	195.4	193.6	-0.9	162.5	155.4	-4.4	152.8	150.8	-1.3				
	医療、福祉	212.0	179.7	182.1	1.3	177.4	166.2	-6.3	147.5	140.4	-4.8				
	教育、学習支援業	238.4	198.7	200.8	1.1	* 168.1	168.9	...	* 153.7	160.6	...				
女	サービス業 (他に分類されないもの)	223.5	209.1	194.9	-6.8	177.5	168.2	-5.2	152.8	155.1	1.5				
	産業計	216.6	189.5	189.3	-0.1	164.2	164.2	0.0	147.2	148.0	0.5				
	建設業	201.6	183.2	187.8	2.5	168.5	174.8	3.7	* 148.1	148.8	...				
	製造業	215.1	190.9	192.8	1.0	163.8	163.7	-0.1	147.7	148.1	0.3				
	情報通信業	219.6	201.4	201.8	0.2	174.9	163.6	-6.5	150.6	157.1	4.3				
	運輸業	* 208.9	182.5	177.2	-2.9	169.1	161.9	-4.3	146.6	149.0	1.6				
	卸売・小売業	209.5	196.0	194.2	-0.9	162.2	166.8	2.8	146.6	150.2	2.5				
	金融・保険業	232.3	178.3	177.6	-0.4	152.4	153.0	0.4	139.9	146.9	5.0				
	飲食店、宿泊業	* 185.1	178.6	179.0	0.2	158.5	157.6	-0.6	149.1	145.4	-2.5				
	医療、福祉	222.1	180.9	187.3	3.5	164.7	165.9	0.7	143.8	143.5	-0.2				
計	教育、学習支援業	225.2	192.4	195.3	1.5	169.1	166.4	-1.6	* 146.7	147.6	...				
	サービス業 (他に分類されないもの)	218.1	193.6	188.9	-2.4	163.3	156.3	-4.3	151.4	148.5	-1.9				

(注) 産業計には、上掲の産業のほか、鉱業、電気・ガス・熱供給・水道業、不動産業及び複合サービス事業を含む。

(4) 初任給の分布

初任給の分布を男女別にみると、大学院修士課程修了の男では21～22万円台に65.6%が集中している。また、大卒では、男は19～20万円台に52.9%が集中し、女は17～20万円台の4階級区分で16.3～20.9%と広く分布している。高専・短大卒では、男が16～18万円台に63.1%、女は15～17万円台に64.9%、高卒では、男は15～16万円台で62.6%、女は14～15万円台で55.4%となっている。（第24表）

第24表 性、学歴、初任給額階級別新規学卒採用者数割合（産業計、企業規模計）

初任給額階級	男 女 計				男				女			
	大学院 修士課程修了	大 卒	高専・短大卒	高 卒	大学院 修士課程修了	大 卒	高専・短大卒	高 卒	大学院 修士課程修了	大 卒	高専・短大卒	高 卒
千円	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
～ 109.9				0.8				0.6				1.1
110.0 ～ 119.9				0.9				0.5				1.6
120.0 ～ 129.9			1.8	5.1			1.4	2.7			2.0	9.3
130.0 ～ 139.9			3.1	8.9			2.4	6.4			3.5	13.2
140.0 ～ 149.9	0.2	1.4	10.8	19.4	0.2	0.8	7.3	15.6	0.2	2.4	13.0	26.0
150.0 ～ 159.9	0.1	2.4	21.0	33.9	0.1	1.4	16.2	36.5	0.2	3.9	24.1	29.4
160.0 ～ 169.9	0.2	5.4	20.9	21.1	0.2	3.8	20.5	26.1	0.5	7.8	21.2	12.3
170.0 ～ 179.9	1.2	14.3	21.2	6.2	0.9	12.1	23.6	7.8	3.2	17.9	19.6	3.5
180.0 ～ 189.9	2.3	16.3	12.7	2.2	1.5	13.5	19.0	2.1	6.4	20.9	8.6	2.3
190.0 ～ 199.9	4.7	20.9	3.0	1.6	4.5	22.5	3.6	1.7	6.2	18.2	2.6	1.3
200.0 ～ 209.9	9.5	25.0	3.1		8.5	30.4	2.4		15.6	16.3	3.5	
210.0 ～ 219.9	19.0	5.2	1.3		18.6	5.6	2.2		21.5	4.7	0.7	
220.0 ～ 229.9	44.0	4.0	1.2		47.0	4.7	1.6		26.2	3.0	1.0	
230.0 ～ 239.9	10.9	2.0			11.3	2.0			8.4	2.0		
240.0 ～ 249.9	4.2	0.9			3.8	0.8			6.2	1.1		
250.0 ～ 259.9	1.5	0.4			1.6	0.4			0.7	0.4		
260.0 ～	2.1	1.7			1.7	1.8			4.5	1.4		
平 均 額 (千円)	220.4	193.9	166.6	152.9	221.0	196.7	170.3	155.7	216.6	189.3	164.2	148.0
第1・十分位数(千円)	201.0	170.6	145.2	133.5	202.3	173.0	148.9	139.9	186.9	164.4	143.6	127.1
中 位 数 (千円)	222.9	195.3	165.8	155.0	223.3	198.1	171.0	157.2	216.6	188.4	162.6	149.5
第9・十分位数(千円)	238.0	217.1	188.6	169.9	237.5	219.5	189.8	171.5	242.3	213.6	187.9	166.0
十分位分散係数	0.08	0.12	0.13	0.12	0.08	0.12	0.12	0.10	0.13	0.13	0.14	0.13

(注) 1 分位数とは、分布の形を示す値である。具体的には、新規学卒採用者を初任給額の低い者から高い者へと一列に並べて、低い方から全体の10分の1番目に該当する者の初任給額が第1・十分位数、高い方から数えて全体の10分の1番目に該当する者の初任給額が第9・十分位数、低い方(あるいは高い方)から数えて全体の2分の1番目(真ん中)に該当する者の初任給額が中位数である。

2 十分位分散係数とは、分布の広がり(分散)を示す指標の一つであり、次の算式により計算された数値をいう。一般に、その値が小さいほど分布の広がりの程度が小さいことを示す。

$$\text{十分位分散係数} = \frac{\text{第9・十分位数} - \text{第1・十分位数}}{2 \times \text{中位数}}$$

